

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年 3月 28日

回収率

50%

事業所名 あおい西草深

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2	0	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	2	0	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1	0	1	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	1	0	0	1	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	0	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2	0	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	1	1	0	0	0		・お客様の成長に合わせて、その時々に必要な支援内容が提供できるよう、柔軟な対応に努める。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	1	1	0		・外出活動などを通じて、様々な児童のふれあいの場の提供に努める。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	1	1	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2	0	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	0	0	1	1	0		・将来的に家族支援プログラムが取り入れられるよう努める。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2	0	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1	0	1	0	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	0	1	1	0		・現状、保護者会は未開催ですが、将来的に取り組めるよう、努めます。
保護者への説明等	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	1	0	0	1	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	1	1	0	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2	0	0	0	0		・SNS(インスタグラム、ホームページ等)での発信を行っておりますが、周知不足がありますので、今後は力を入れて取り組む。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	2	0	0	0	0		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1	1	0	0	0		・事業所玄関にファイリング開示しておりますが、周知不足がありますので、改善に努める。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0	0	1	1	0		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	1	0	0	1	0		
	23 事業所の支援に満足している	1	0	1	0	0		・随時保護者様からの意見をお聞きしながら、支援内容に反映できるよう、コミュニケーションの改善に努める。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 28日

回収率

事業所名 あおい西草深

80%

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	0	0	0		・来年度は事業所の移転があるため、新規事業所でも安全に活動できるスペース、環境づくりに努める。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3	0	2	0	・熱心に取り組んでくださってありがたい ・いつもありがとうございます ・専門的な方と専門的でない方の個人差が結構ある気がする	・今後も子ども達を中心とした事業所作りと社会性向上の支援を軸に運営して参ります。 ・経験の少ない職員には現場研修を通じて専門性の向上に努める。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2	0	3			・来年度は事業所の移転があります。環境の変化もあります。バリアフリーなどに配慮した環境づくりに努める。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	2	0	0	0	・子どもには寄り添っていただき、私(親)には悩みやアドバイスをたくさんいただき、とてもありがたく助かっています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	2	0	0	0		・支援内容は子ども達の変化に合わせた柔軟な対応ができるよう、保護者の方と情報共有をさせて頂きながら対応に努める。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4	1	9	0		
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2	0	0	0	・時間があればもっと先生方に相談したいです	・希望面談等のニーズをくみ取り、スケジュールを整理して対応できるよう努める。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	3	0	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	5	7	0	・すみません。保護者同志の連携があるのを知りませんでした ・保護者会があれば都合のつく限り参加したいな、と思います	・現状、保護者会等の開催が出来ませんので今後開催できるよう努める。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	3	0	3	0	・小さなトラブルでも情報共有したいです	・些細なできごとでも共有できるように努める。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	2	0	0	0	・LINEで連絡を頂けるので助かっています	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	3	0	4	0	・学校の長期休みの予定を子どもも楽しみにしています	
	14 個人情報に十分注意しているか	17	1	0	2	0		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	3	0	0	1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4	0	10	0	・会報やLINE等で避難訓練の様子を出してもらいたい	・今後は消防訓練の様子などもSNS等で発信するよう努める。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17	2	0	1	0	・色々場所は行って普段経験できないこともできるため、もう少し利用時間が長いといいなと言われるほどです	・長期休み等、お出かけ支援の充実を今後も目指します。支援時間のご希望も可能な限り対応できるよう努める。
	18 事業所の支援に満足しているか	19	1	0	0	0	・子どもだけではなく、家族への心配りをして頂き、子ども合わせた支援をしてくださっていることに感謝しています	・今後もご利用者様の満足度の高いサービス提供に努める。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 28日

回収率 100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	4	1	0	0	0	・職員配置基準を遵守している。 ・定められた配置人数は満たしているが、一人一人に沿った支援を行うためには増員が必要と思われる	・より一層の手厚い支援のため、引き続き創意工夫を務めていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	2	0	0	0	・支援ツールの提供には力を入れているが、使いやすさ等の点でまだ創意工夫が必要と思われる。 今後の課題 ・体を動かして遊ぶ場所、静かに遊ぶ場所など、遊びの内容や周りの子どもの様子に合わせて場を区切るなどしている	・来年度は事業所が移転するため、より良い環境づくりに努めていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	0	0	・定期ミーティングを行い、職員それぞれが意見を出し合う場を作っている ・支援内容や業務について検討、振り返りを日々行い、よりスムーズな運営につながるよう工夫している	・常に子どもの変化に対応できる柔軟な姿勢に職員一同努めていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	0	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	0	1	0	・InstagramとHPIにて公開している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2	0	0	・今後取り組むべき課題 ・現在行っていないが、外部評価について検討していく	・将来的に第三者評価について取り組んでいく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	0	0	0	・外部研修の実施を行って行きたい ・週1回のミーティングの中で、実際にあったことをもとにしながら研修を行っている	・研修、OJTを通じて職員の質の向上に努めていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1	0	0	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	0	0	0	・全員に標準化されたアセスメントツールを使用していないが、子どもの様子や状況に応じてアセスメントツールを使用することもある	・アセスメントツールのアップデートを行っている
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	0	0	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	0	0	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	0	0		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	0	0	・保護者からの家庭での様子等の情報を支援に生かすことも積極的に行い、その時々に必要な支援を行うようにしている	・保護者様とのコミュニケーションをとりながら支援プログラム、活動プログラムの創意工夫を行っていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	0	0	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	0	0		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	0	0	0	・時間的に可能な場合とそうでない場合がある ・必ずしもその日ではないが、支援の振り返りや次につながる話し合いの場を設けている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	0	0		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	0	0			

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 28日

回収率 100%

	チェック項目	評価					ご意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0	0	0		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3	1	0	0		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1	2	1	0	・支援していない ・現在、対象児がいない	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	1	2	1	0	・支援していない ・現在、対象児がいない	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	1	0	0	・保護者を通して園での様子について共有している	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	1	0	0	・学校による	
関係機関や保護者との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	2	0	0		・関係機関との連携強化に努める。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	3	0	0		・外出活動を通じて、地域や社会との交流の場の提供に努めます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2	2	0	0		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	0	0		
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	1	0	0		・将来的に外部の家族支援プログラム研修に参加して職員のスキル向上に努めます。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	0	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	0	0	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	0	0	0	・不定期で行っている	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0	4	0	0		
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	0	0	・保護者からの申し出があった場合は面談等の時間を確保し、タイムリーに対応できるようにしている	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	1	0	0	・SNSにより発信している ・インスタグラムを活用し、日々の活動内容等について発信している	・SNSで発信をしているが周知が足りていないので、保護者様への周知を努める。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	0	0	0		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	0	0		
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3	0	0		・将来的にイベント等を企画し地域住民との交流の機会の提供を検討していく。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 28日

回収率 100%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	0	0	0		
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	0	0	・月1回防災訓練を行っている	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	0	0	0	・契約時に持病や服薬等について保護者からの情報をもらうようにしている	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	2	0	0	・保護者からのヒアリングを行っている ・現在、対象児がいない	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	0	0	0		
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	1	0	0		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	1	0	0		

〇この「児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 28日

回収率 100%

1

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	5	0	0	0	0	・人員基準を順守している。 人員基準は適切ではあるが、手厚い支援のために増員が必要だと思われる。 ・定められた配置人数は満たしているが、利用者一人一人に沿った支援を行うためには増員が必要である	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	0	0	0		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	0	0	・支援や様々な業務について、予定、振り返り、次への改善など職員間で話をして業務がよりよく進むようにしている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	0	1	0	InstagramとHPにて公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2	0	0	・外部評価について現在は行われていないが、今後に向けて検討、準備を進めていく予定である ・今後取り組み予定	・第三者の外部評価の実施を検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	0	0	0	・週1回ミーティングの時間を活用して、日々の支援の中でのことや資質向上のために時間を設けている ・今後外部研修に取り組んでいきたい ・長期休み以外は週に1度定例会議を開いている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0	0	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	0	0	0	・支援内容等必要に応じてアセスメントツールを活用する場合もあるが、利用者全員に対して同じアセスメントツールを使用してはいない	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	0	0		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	0	0	・常に情報共有し、変更が必要な場合はしている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	0	0	・余裕をもって事前に活動内容を決めている。 ・特に長期休暇中は平日にできない活動を取り入れるなど、様々な経験ができるよう配慮している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	0	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	0	0	・定期ミーティングを開催し職員間のコミュニケーションの場を作っている。 ・前回の振り返り等の話を必ずしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	0	0	・必ずしもその日ではないが、次日やミーティング等で支援の振り返りや次の対応等について共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	0	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	0	0		

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数 組み合わせて支援を行っている	5	0	0	0	0		
----	-------------------------------------	---	---	---	---	---	--	--

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 20日

	チェック項目	評価					意見	・個意見を踏まえた対応 ・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いえな い	いいえ	わから ない	無回答		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	0	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	0	0	0	・下校時間の確認や子どもについての情報共有等、必要に応じて学校への連絡、調整をしている	・できるだけ多くの児童が関わる学校と連携をとりながら包括的支援に努めていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	2	3	0	・受け入れていない ・主治医との直接的な連絡はないが、保護者を通すなどして情報共有をしている	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	1	1	0		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	2	1	2	0	・学校を卒業し、障害福祉サービス事業所へ移行した子どもがまだいない	・将来の就労を見据えた生活支援にも取り組んでいく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	2	0	0		・今後研修参加に努める。
関係機関や保護者との連携	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2	0	0		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	3	0	0		・地域連携を視野にいれた運営の実践に努める。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	0	0		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	0	0		・今後取り組んでいきたい。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	0	0	・保護者からの相談を受けた時には必要に応じてアドバイスしている	・保護者の方からの面談のニーズに柔軟に対応できる体制が構築できるよう努める。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0	4	0	0	・今後取り組んでいきたい。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	0	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	1	0	0	・SNSで活動内容を随時公開している。 ・InstagramとHPの更新をしている ・インスタグラム等を活用し、日々の活動内容や子どもたちの様子について発信している	・将来的には定期通信などにも取り組んでいきたい。
	35 個人情報に十分注意している	4	1	0	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	0	0	・LINE等SNSを通じて効率的な情報共有を行っている。	・より保護者の方、関係機関と情報共有をしながら、多視点による支援に努める。
非常時等の対応	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	1	1	3	0	0		
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	0	0	0		・よりいっそうの事業所内公示の周知に努める。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0	0	0		・防災訓練の様子を保護者に周知できるよう、改善していく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	1	0	0		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	1	0	0		
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1	0	0	・保護者に随時確認をとっている ・現在は対象となる子どもがいない		

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	0	0	0		・より一層のリスクマネジメントに努める。
----	---------------------------	---	---	---	---	---	--	----------------------

○この「放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。